

地域公共交通計画の策定に向けて ～ これまでの取組と今後の方向性について ～

これまでの取組①

- 加西市では、車を気軽に利用できない人は全体のうち約3割となっており、外出しにくい方が一定数存在している。【資料 1-1 の 38 ページ参照】
- ⇒車を気軽に利用できない人のうち、移動に困っている人たちがいると想定
- ⇒これらの移動に困っている人たちを減らしていくために、現行計画策定以降に以下の取組を実施
- ・ねっぴ〜号と北条鉄道の接続強化等によるコミュニティバスの再編や、無料乗車券の配布等によるコミュニティバスの利用促進により、公共交通の利便性向上の取組を実施【資料 1-1 の 22 ページ参照】→ 利用者はU字回復【資料 1-1 の 23 ページ参照】
 - ・地域主体型交通を宇仁地区（宇仁ふれあいバス）、日吉地区（日吉地区乗り合いタクシー）に導入し、地域内での移動利便性向上の取組を実施【第 46 回協議会資料 8-2 の 8 ページ参照】→ 他地区でも地域主体型交通の導入に向けた取組が推進中→ 移動に困っている人の移動手段確保に寄与
 - ・上記のネットワークの充実・強化に加え、路線バスやねっぴ〜号、はっぴーバス、宇仁ふれあいバス、日吉地区乗り合いタクシーの交通結節点となる中富口バス停の拠点整備を実施し、乗継機能の強化を図る予定 → 拠点機能の強化によるさらなる利便性向上

方向性① 現行計画策定以降にこれらの取組を実施し、移動に困っている人への移動手段確保を進めており、今後も引き続き取組を推進

これまでの取組②

- 公共交通をとりまく状況の変化としては、北条鉄道の増便による市外連携軸の強化を実施【第 46 回協議会資料 8-2 の 5 ページ参照】
- ⇒学生を中心とした利用者数の増加、一方で通勤利用者は横ばい【資料 1-1 の 11 ページ参照】
- 北条鉄道の増便に合わせたコミュニティバスの再編による市内連携軸の強化や、sora かさいの整備、（仮称）道の駅加西整備基本構想、加西インター産業団地整備事業等の取組を進めている
- ⇒加西市として推進する産業面（通勤）や観光面の強化に合わせた移動手段の確保が必要
- とこなべ工業団地などで、雇用確保に公共交通が寄与している【第 46 回協議会資料 1（令和 3 年度 加西市コミバスねっぴ〜号の利用状況）参照】
- ⇒公共交通沿線の企業と公共交通の利用性についての協働が期待される。

方向性② 市民の利便性の向上だけでなく、産業や観光などの他分野と公共交通との連携によるサービス強化など、新たな取組への挑戦

公共交通の機能強化により移動しやすい仕組みを構築するとともに、産業や観光等の他分野との連携により地域の魅力向上を図ることで、将来的な定住促進を推進